

第4回東方経済フォーラム 日ロビジネスラウンドテーブル プログラム

<p>9月12日(水) 9:30~11:00</p> <p>会場: 極東連邦大学 B棟、レベル5、 第3会議室</p> <p>言語: 日本語、及び ロシア語 (同時通訳)</p> <p>参加者数: 日ロ合わせて 350名程度</p>	<p>「新たな段階に向けての日露極東連携:ビジネス成功の鍵と新たな可能性」</p> <p>2016年に安倍総理がプーチン大統領に提示した「8項目の協力プラン」は3年目を迎え、新たな段階に入ったと言える。同プランに基づく日露の民間プロジェクトは130件を超え、極東地域でも医療、再生可能エネルギー等におけるプロジェクトの進展、日露共同のプロジェクト開発促進会社(JPPV)の設立等、多様な分野で関係が強化されつつある。また、北極海航路の開発等を通じた新たな可能性も指摘されつつある。こういった中、ロシア政府も新型特区、自由港といった制度面での優遇、日本での対露投資窓口の指名等の各種措置を講じ、日本政府も農林水産業、輸出基地化のためのインフラ整備、エネルギーインフラ開発といった点を重視し、民間プロジェクトを後押ししている。</p> <p>今後、極東地域における両国間の民間連携をさらに進めていくためには、過去のプロジェクトの経験も踏まえつつ、現在検討中のプロジェクトを一つでも多く日露両国間で実現させ、成功事例を拡大していくことが急務である。</p> <p>本ラウンドテーブルでは、日露双方のビジネス代表者を招き、既存プロジェクトの成功に至った「鍵」となるポイント、極東での案件形成やプロジェクトの進展における残された課題、新たな分野におけるビジネスの可能性等について議論する。</p>
	<p>主催: (一社)ロシアNIS貿易会、露日ビジネスカウンスル/実業ロシア</p> <p>モデレーター: 【日本側】 村山 滋 ロシアNIS貿易会会長/川崎重工業 取締役会長 【ロシア側】 A. レピク 露日ビジネスカウンスル議長/実業ロシア会長</p> <p>報告者: 【日本側】(氏名50音順) 朝田 照男 経団連 日本ロシア経済委員長/丸紅 取締役会長 飯島 彰己 三井物産 代表取締役会長 鎌田 一 社会医療法人北斗 理事長 前田 匡史 国際協力銀行 代表取締役総裁 米倉 英一 スカパーJSAT代表取締役 執行役員副社長</p> <p>【ロシア側】(予定、ロシア側発言順) K.ドミトリエフ ロシア直接投資基金総裁 V.シュヴェツォフ ソラーズ社長 N.シュリギノフ ルスギドロ社長 A.ニコラエフ サハ共和国(ヤクーチア)首長臨時代行 N.ポドグゾフ ロシア郵便社長</p> <p>コメント: 尾身 幸次 STSフォーラム理事長 片山さつき 参議院議員・自民党政務調査会長代理 S.ツイヴィレフ ケメロヴォ州知事臨時代行 S.ケリバフ 国営会社アフトル社長 G.ベリョスキン ESNグループ会長</p>